

中央教育審議会 大学分科会
質保証システム部会(第6回)
2020(令和2)年12月23日(水) 10:00-12:00

大学通信教育における質保証

公益財団法人私立大学通信教育協会
理事長 高橋 陽一(武蔵野美術大学)

 公益財団法人私立大学通信教育協会

この報告内容は、協会と加盟各校により整理したデータや意見に基づいていますが、共通の見解を示すものではなく、とくに分析や提言などは報告者の責任により、まとめています。* 画像資料は私立大学通信教育協会及び武蔵野美術大学の許諾により掲載しました。

0.はじめに

(参考) 第4回質保証システム部会

「大学分科会質保証システム部会における今後の議論における論点 (案)」

大学設置基準・設置認可審査の在り方について

- 時代に即した設置基準とするために見直すべき観点は。例えば、施設・校地校舎の在り方や、科目当たり単位数や履修科目数など教育課程の在り方、専任教員の在り方等についてどのように考えるか。その際、設置審査や認証評価、自己評価・内部質保証、情報公表等の質保証システム全体との整合性をどのように考えるか。

オンライン教育や授業内容・授業方法の進展に伴う質保証の在り方について

- オンライン教育や授業内容・授業方法の進展に伴って見直すべき設置基準上や認証評価上の観点は。

報告の概要

- 1 社会人のための大学通信教育の変化
- 2 大学通信教育における質保証

0. はじめに

- 1947(昭和22)年 学校教育法(通信教育の制度化)
大学基準協会「**通信教育基準**」
- 1949(昭和24)年 財団法人大学通信教育協会創立
- 1950(昭和25)年 大学通信教育の開始
- 1981(昭和56)年 **大学通信教育設置基準**制定(文部省令)
- 1998(平成10)年 大学院設置基準改正(**修士課程通信教育**)
同時双方向型メディア授業(遠隔授業)
- 2001(平成13)年 **非同時双方向型メディア授業**(遠隔授業)
卒業所要単位全てをメディア授業で可能に
- 2002(平成14)年 大学院設置基準改正(**博士課程通信教育**)
- 2014(平成26)年 **大学通信教育設置基準**改正
卒業所要単位全てがメディア授業の大学の校舎
面積基準の規制緩和(特区制度の本則化)

0.はじめに

公益財団法人私立大学通信教育協会

多様な資格・免許を加盟59校でカバーして、合同入学説明会を実施。

取得できる教員免許状一覧

(○は1種・●は2種、●は1種、△は2種の免許状を)

大学種類	法政大学	慶應義塾大学	中央大学	日本女子大学	日本大学	玉川大学	佛教大学	近畿大学	明星大学	創価大学	産業能率大学	愛知産業大学	京都造形芸術大学	帝京平成大学	北海道情報大学	大阪芸術大学	聖徳大学	日本福祉大学	武蔵野美術大学	東北福祉大学	中部学院大学
国語科	●	●			●	●	●	●	●							●	●				
地理歴史科	●	●			●	●	●	●	●					●		●	●				
公民科	●	●			●	●	●	●	●					●		●	●				
書道科							●									●	●				
美術科									●							●	●		●		
工芸科									●							●	●		●		
中国語科				●			●														
保健科					●																
保健体育科					●																
家庭科				●										●	●						
商業科	●				●									●	●						
英語科		●			●		●		●								●				
宗教科							●														
数学科							●		●							●	●				
情報科							●		●						●	●					
福祉科							●										●				
音楽科																●	●				
理科科									●												

資格	法政大学	慶應義塾大学	中央大学	日本女子大学	日本大学
保育士				○	○
司書教諭	○				
図書館司書	○				
学校司書					
社会教育主事	○				
博物館学芸員				○	
測量士補	○				
社会福祉主事					
児童指導員					
日本語教師					
情報処理士					
介護職員初任者研修					
浄土宗教師					
知的障害者福祉司					
身体障害者福祉司					
心理判定員					
認定心理士					
准学校心理士					
若狭カヌー指導員					
心理相談員					
社会調査士					
応用心理士					



●取得できる学位等の一覧

大学種類	大学院名	研究科名	専攻名	学位の種類	専修免許状の種類	諸資格
中学校	日本大学	総合社会情報(M)	国際情報	修士(国際情報)	-	-
			文化情報	修士(文化情報)	-	-
	総合社会情報(D)	人間科学	修士(人間科学)	-	-	-
		総合社会情報	博士(総合社会文化)	-	-	-
	佛教大学	文学(M)	仏教学	修士(文学)	中学校(社会・宗教)・高等学校(公民・宗教)	社会教育主事、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、学校司書
			文学	修士(文学)	中学校(国語、英語、中国語)・高等学校(国語、英語、中国語)	社会教育主事、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、学校司書
教育学(M)		生涯教育	修士(教育学)	幼稚園・小学校・中学校(社会・数学)・高等学校(地理歴史、公民、数学)	社会教育主事、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、学校司書	
		臨床心理学	-	-	臨床心理士資格認定試験受験資格(3年間の履修が必要)、公認心理師受験資格	
社会学(M)		社会学	修士(社会学)	中学校(社会)・高等学校(公民)	社会教育主事、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、学校司書	
社会福祉学(M)	社会福祉学	修士(社会福祉学)	中学校(社会)・高等学校(公民)	社会教育主事、博物館学芸員、図書館司書、学校図書館司書教諭、学校司書		
小学校	文学(D)	仏教学	博士(文学)	-	-	
		歴史学	博士(文学)	-	-	
	教育学(M)	教育学	修士(教育学)	幼稚園・小学校・中学校(社会)・高等学校(地理歴史、公民)	-	
幼稚園	教育学(D)	教育学	博士(教育学)	-	-	
	児童学(M)	児童学	修士(児童学)	幼稚園・小学校	学校心理士受験資格(調査1年)	
特別支援学校	児童学(D)	児童学	博士(児童学)	-	-	
		児童学	博士(児童学)	-	-	

1 社会人のための大学通信教育の変化

1 社会人のための大学通信教育の変化

大学通信教育の誤解と常識

1)誰にでもできる。

→入学資格があれば入学試験なしで入学できるアドミッション・ポリシーが大半。しかし、**ディプロマ・ポリシー**は通学課程と同じとなる。

2)教育水準が「低い」。

→教育水準は通学課程と同じ。多忙な社会人は、**長期の計画的な在学**が可能。

1 社会人のための大学通信教育の変化

大学通信教育は、大学設置基準と大学通信教育設置基準の両方を満たすもの。

大学設置基準

(昭和31年10月22日文部省令第28号)

大学通信教育設置基準

(昭和56年10月29日文部省令第33号)

短期大学設置基準

(昭和50年4月8日文部省令第21号)

短期大学通信教育設置基準

(昭和57年3月23日文部省令第3号)

大学院設置基準 (通学と通信に共通)

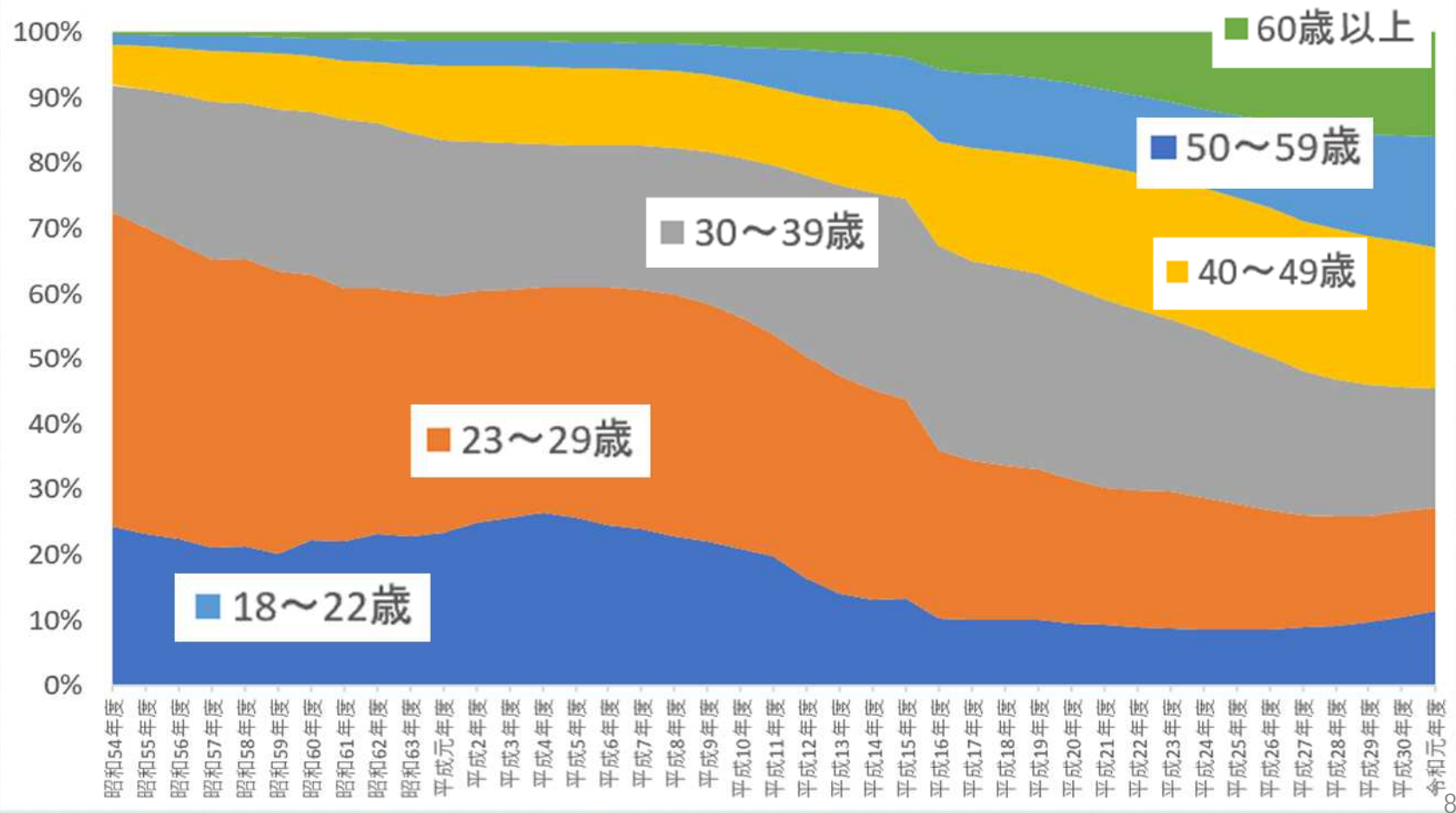
(昭和49年6月20日文部省令第28号)

大学教育の水準と、通信教育を行う水準の、両方が求められて、質保証が確保されている。

1 社会人のための大学通信教育の変化

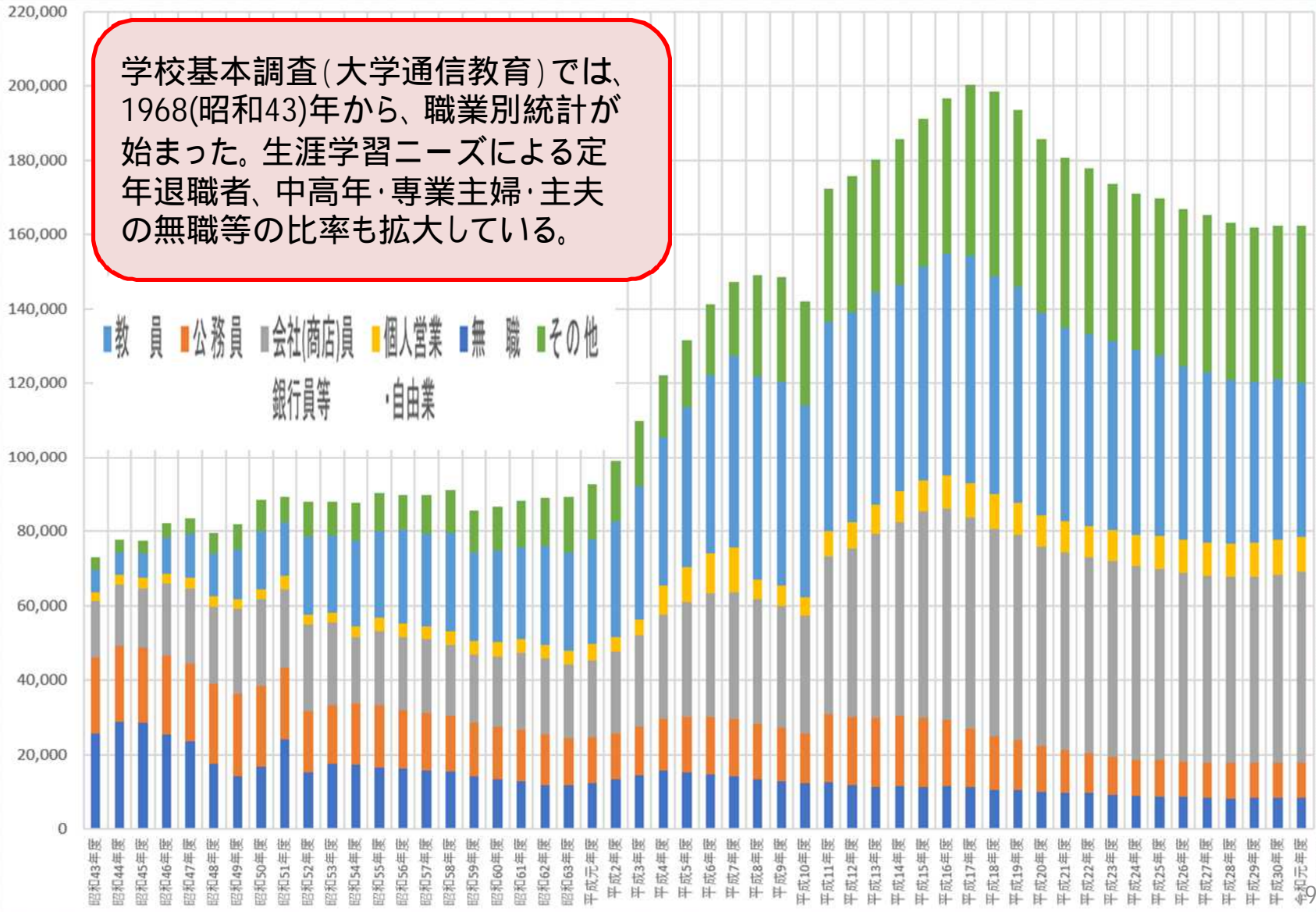
学校基本調査(大学通信教育)の年齢別統計が始まった1979(昭和54)年から、各年齢層に広がる。40代以上の中高年も増大。

大学通信教育 年齢別在籍者数(正規の課程)『学校基本調査』



1 社会人のための大学通信教育の変化

学校基本調査(大学通信教育)では、1968(昭和43)年から、職業別統計が始まった。生涯学習ニーズによる定年退職者、中高年・専業主婦・主夫の無職等の比率も拡大している。



1 社会人のための大学通信教育の変化

大学通信教育、とくに学部教育は、**大学等の既卒者**が専門知識を求めて社会人が**編入学**する、「**学び直し**」、**リカレント教育**の場。

最終学歴 (私立大学通信教育協会「入学者調査」令和元年度による ※正規の課程のみ)

大学	高校卒業 27.1%	専門学校 修了 13.0%	短大卒業 12.2%	大学卒業 33.1%	その他 14.6%
----	---------------	---------------------	---------------	---------------	--------------

高等教育経験者 = 編入学が四分之三を占める

1 社会人のための大学通信教育の変化

通信教育の学生は通学の一割以下、放送大学と私学のみ学校基本調査

令和元年度	通学学生数	通信私学学生数	放送大学学生数	(計)通信学生数
大学学部	2,609,148	127,731	80,065	207,796
大学院	245,621	3,337	4,447	7,784
短期大学	113,013	20,860	0	20,860

授業料が低廉であることと、いくつかの公的支援

主要部分のみを掲載	修学支援制度			貸与奨学金 (日本学生支援機構)		日本郵便			
	授業料等減免額 (年額上限)	入学金減免 上限額	奨学金給付額(年額)		第1種奨学金		郵便料金		
通信教育課程	130,000円	30,000円		51,000円	夏季・冬季スクーリング / 放送大学 88,000円 (年額)	第4種郵便	100g以内 15円～		
通学課程(私立)大学	700,000円	260,000円	自宅	459,600円	自宅外 (月額)	20,000～ 64,000円	第1種郵便	定型	25g以内 84円～
			自宅外	909,600円				定形外	50g以内 120円～

1 社会人のための大学通信教育の変化

大学通信教育の学生は多様な目的で入学

通学課程と比べて、学位取得までたどりつく学生は多くない

学力確認の機会の提供と長期在学を可能とする
仕組みを整備

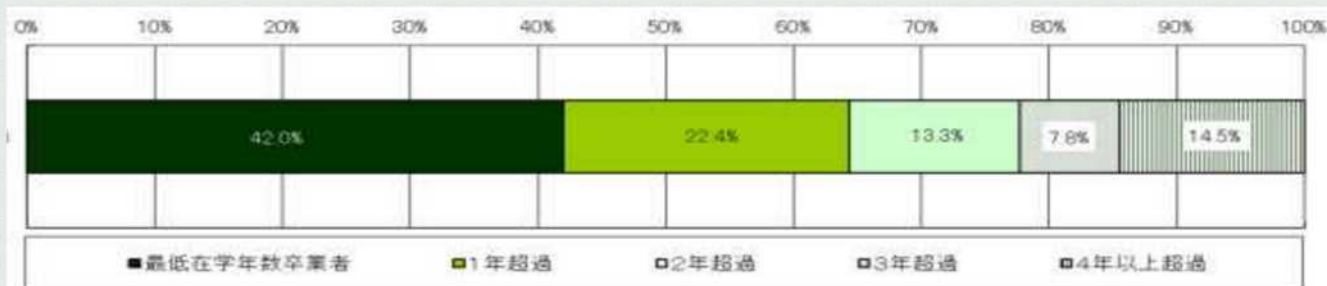
< 取組事例 >

会場方式の単位修得試験を全国実施。

大規模校では各都道府県に試験会場。

同一科目で年度を超えて学べる「**履修継続**」制度。

4年の通信課程では在学期間**10年以内**を明記。その後も「**再入学**」などのライフスタイルにあわせた配慮も実施。



卒業者の超過年数。

文部科学省「大学通信教育等における情報通信技術の活用に関する調査研究協力者会議」平成24年12月19日資料より

2 大学通信教育における質保証

2 大学通信教育における質保証

印刷教材等による授業(通信授業)は、大学通信教育として認可された場合のみ可能。

第一課題合格

第二課題合格

単位修得試験合格

2単位科目では、第1レポート合格後に、第2レポートに合格して、各会場での修了認定試験の受験資格を獲得。通学課程よりも、**厳密な単位修得**が前提となる。年度を超えて履修や、不合格による再提出などの計画的な履修も可能。

教科書(1単位あたりA5判100頁が標準)と1単位あたり1回のレポート添削。単位修得試験は、全国各地の試験会場に出席を求めて実施。



大学刊行の通信教育教科書
2020年度の武蔵野美術大学の
テキストの例

放送授業も、大学通信教育として認可された場合のみ可能。¹⁴

2 大学通信教育における質保証

通学課程の授業(講義、演習、実技、実習)は、面接授業(スクーリング)にあたる。



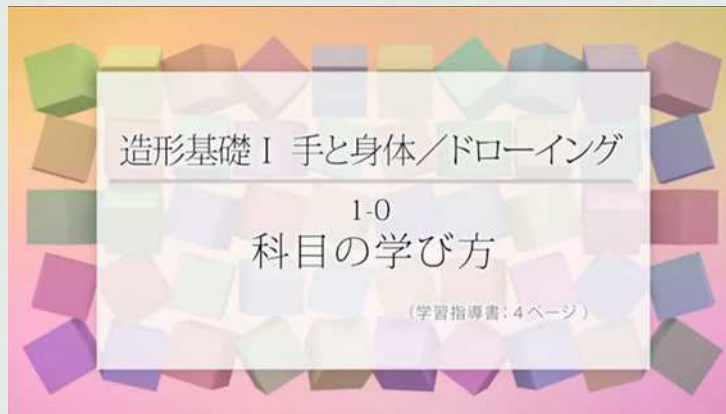
1950年当初は夏期の長期のスクーリングや通学課程の授業出席であった。
現在では、夜間や週末や地方など、アクセスの選択肢が広がっている。



2 大学通信教育における質保証

メディア授業 = 遠隔授業 (通学課程も通信教育課程も共通)

通信教育課程のオンデマンドのメディア授業は、スタジオ収録や専門スタッフの編集による番組スタイル授業作成が一般的。



メディア授業
(遠隔授業)

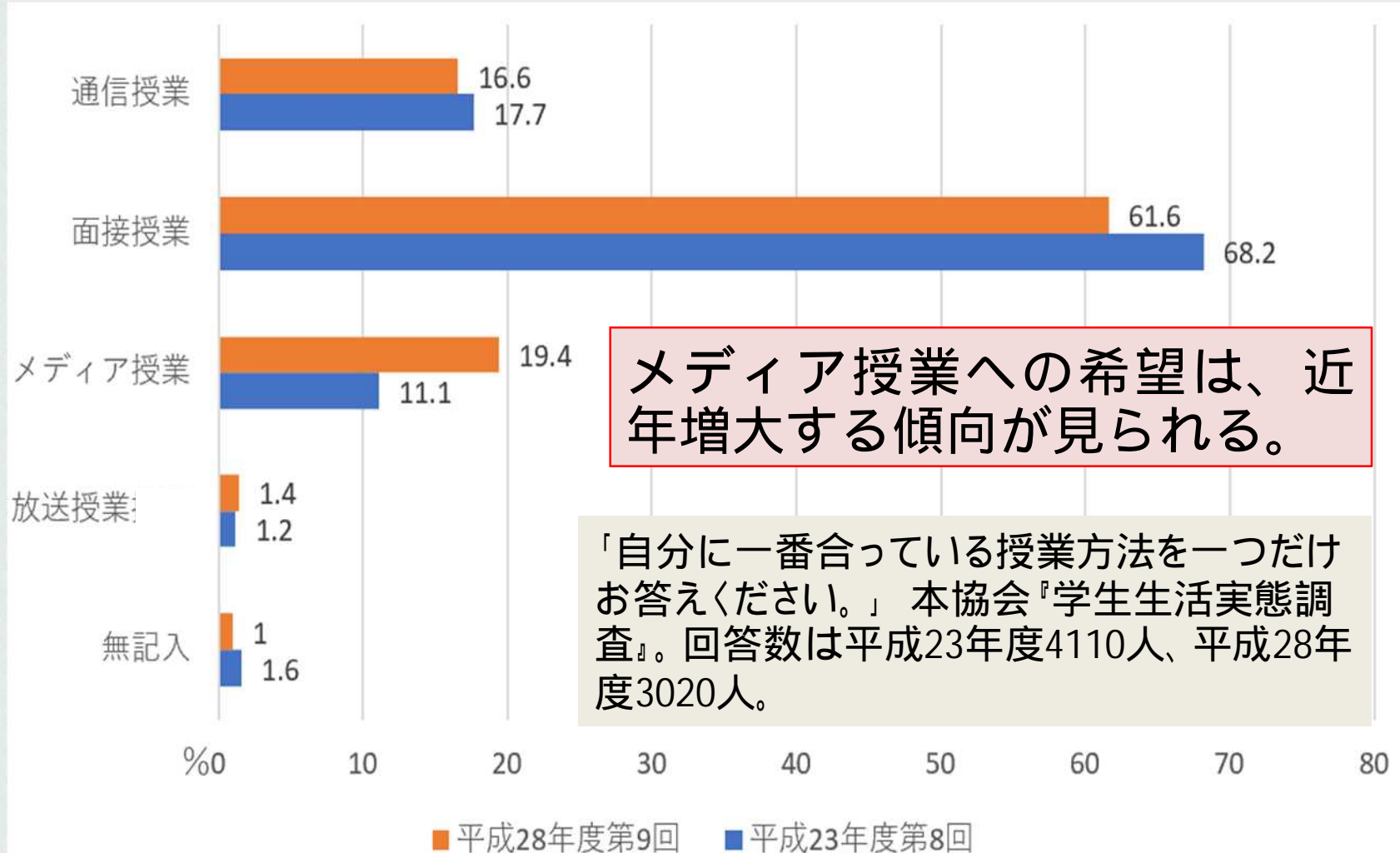
同時双方向型
(リアルタイム)

非同時双方向
(オンデマンド)

メディア授業告示により、双方向性が厳密に求められる。「設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導を併せ行うものであって、かつ、当該授業に関する学生等の意見交換の機会が確保されているもの」などの条件がある。

2 大学通信教育における質保証

四つの授業方式は、それぞれ学生に定着している。



メディア授業への希望は、近年増大する傾向が見られる。

「自分に一番合っている授業方法を一つだけお答えください。」本協会『学生生活実態調査』。回答数は平成23年度4110人、平成28年度3020人。

2 大学通信教育における質保証

4つの授業方式に及ぶICT活用の展開

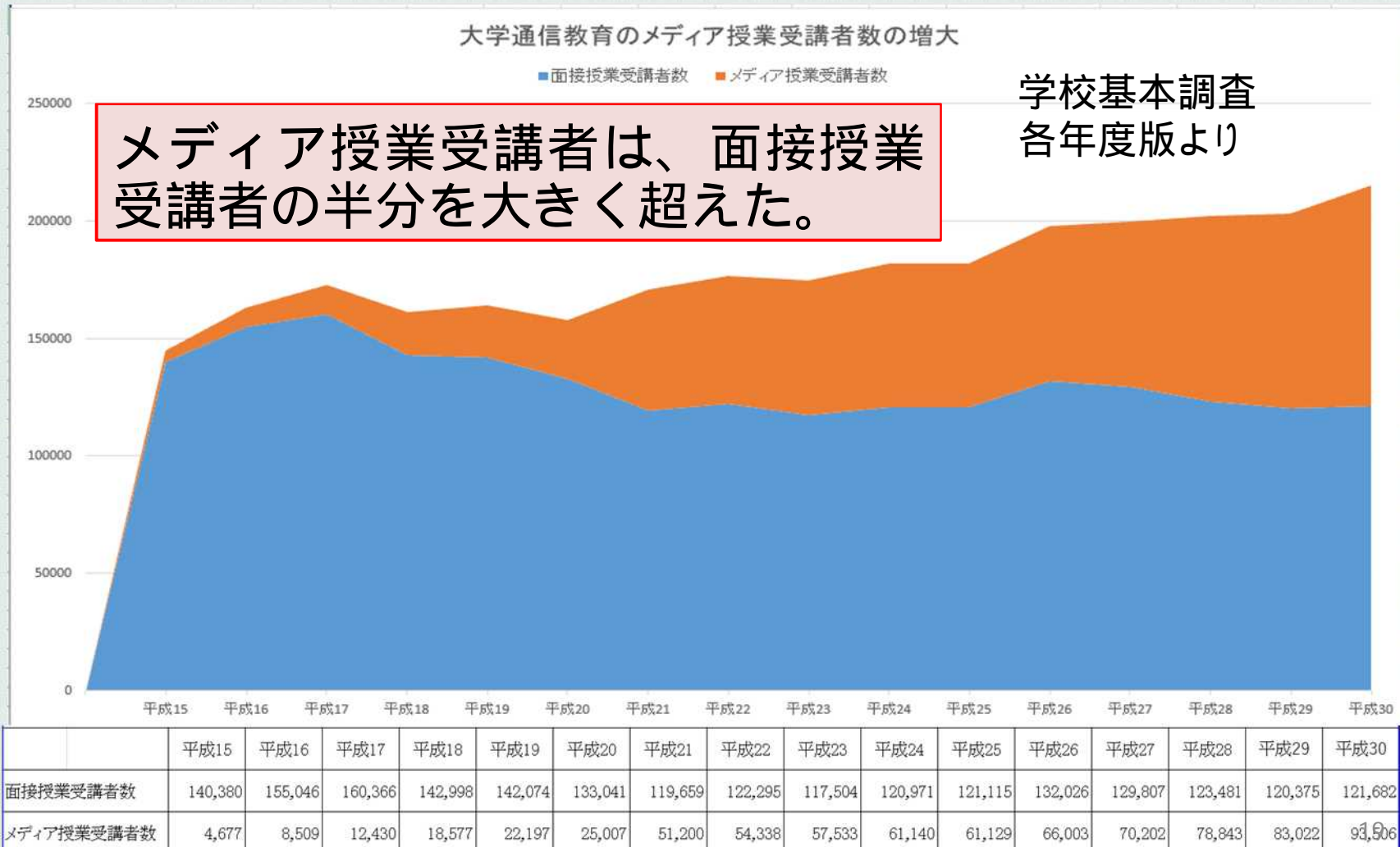
授業方式	当初からの形式	その後の利便性の拡大
通信授業 印刷教材による授業	教科書配付と 郵便提出の添削	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書やネット配信 ・インターネット経由のレポート添削
面接授業 スクーリング	夏休みの長期 スクーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの登録や追加教材 ・週末や夜間のスクーリングの普及
放送授業	テレビ放送	<ul style="list-style-type: none"> ・放送番組のインターネット配信
メディア授業 遠隔授業	テレビ会議 システム	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド型の普及 ・教員・学生相互の双方向性の確保

科目名	エビュータリテラシーⅡ
課題内容	「利用しているブラウザもしくはメールソフト」に「暗号化する機能」……現在、主に利用しているブラウザが「Webページ閲覧ソフト」または「メールソフト」のどちらかを選択し、選択したソフトを確認し、調査。さらにその他のブラウザ、メールソフトを確認し、現在利用しているものと比較・評価の上、全体的に考察しなさい。＊詳細は本年度の学習指導書を確認すること。
タイトル(100文字まで) ※必須	<input type="text"/>
本文 ※必須	<input type="text"/> 0/2500
添付ファイル	ファイルを添付 (100MB以内) ファイルを添付 (100MB以内) ファイルを添付 (100MB以内)
参考URL	<input type="text"/>
受検通知連絡先メールアドレス	・受検通知メールが必要な場合は空白にしてください。 ・一部携帯メールには対応していません。文字リッチを起す場合がございます。

通信授業のレポート提出や添削物の返却も、郵便ではなく、インターネット経由が一般的である。

2 大学通信教育における質保証

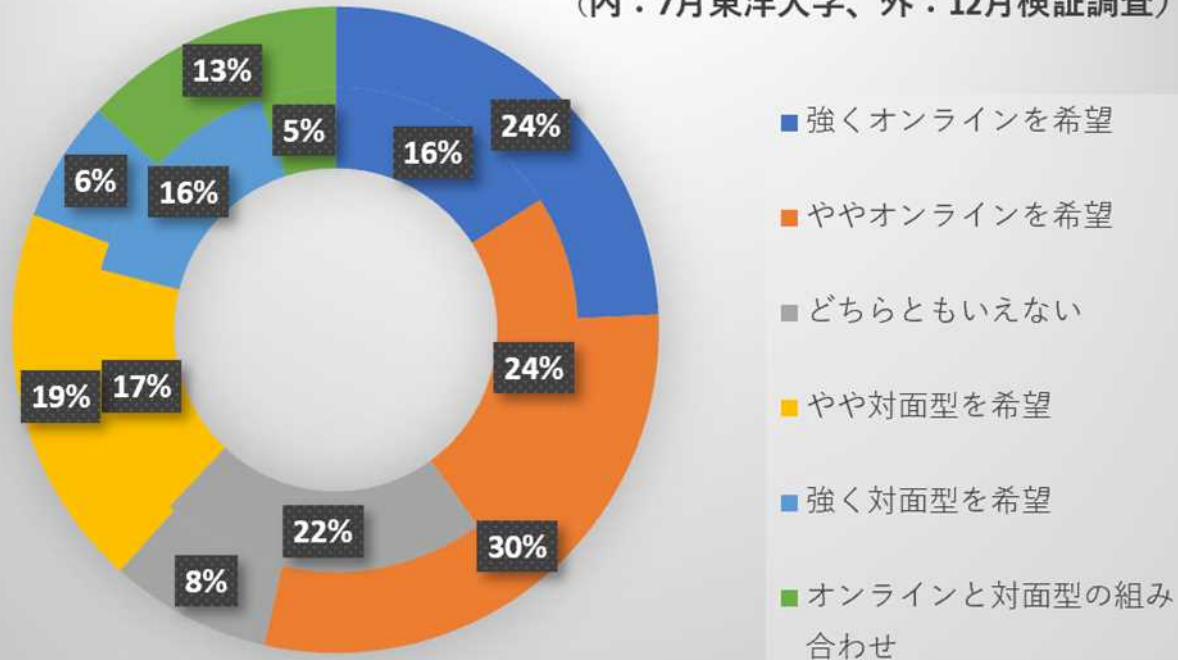
大学通信教育におけるメディア授業の増大



2 大学通信教育における質保証

オンライン講義への希望

(内：7月東洋大学、外：12月検証調査)



2020年の通学課程の学生の意識でもメディア授業への希望が見られる。

この講義をもう一度、受講経験がなくはじめて受けるとすると、今のようなオンライン講義がいいか、対面講義がいいか、どちらでしょうか？

原調査：東洋大学現代社会総合研究所ICT教育研究プロジェクト(松原聡東洋大学学経済学部教授 = 代表)「コロナ禍対応のオンライン講義に関する学生意識調査」2020年10月14日(ウェブ公開、同年7月調査、15大学1426件、回答率44.7%) 検証調査：高橋陽一検証調査2020年12月4-10日、武蔵野美術大学教育原理及び教師論合計4授業、124件、回答率60.2%

2 大学通信教育における質保証

通信独自の水準維持 = 協会ガイドラインの制定

大学通信教育ガイドライン

平成17年6月24日制定
平成24年11月26日改正

この大学通信教育ガイドラインは、大学設置基準、大学院設置基準、大学通信教育設置基準、短期大学設置基準、短期大学通信教育設置基準に定められた要件を踏まえ、公益財団法人私立大学通信教育協会が、大学通信教育の水準の維持向上と発展のために制定するものである。

このガイドラインにおける大学通信教育とは、特に断りのない限り、大学、短期大学、大学院の各課程を包括している。また、大学通信教育には、学校教育法第84条、第101条、第108条第6項により通信教育のみを行う学部等の組織を置く場合（以下「独立型」という。）と、大学通信教育設置基準第9条第2項、短期大学通信教育設置基準第9条第2項、大学院設置基準第27条により通学の課程の組織が「併せ行う」場合（以下「併設型」という。）があり、このガイドラインでは両方に共通の事項について記すものとする。

- 1 大学
- (1) 大学の設置
- (2) 大学の年制
- 2 教員
- (1) 大学の組織が
- (2) 教員
- 3 学生
- (1) 学生の受け入れ
- (2) 科目等
- (3) 学生受入の方針、入学者及び編入学生の数、収容定員及び学生の数、卒業又は修了した者の数、進

メディアを利用して行う授業に関するガイドライン

趣旨と説明図、本文

目次

- 1. 趣旨と説明図 1頁
- メディア授業ガイドラインの趣旨 5頁

「大学通信教育ガイドライン」2005(平成17)年
「メディア授業ガイドライン」2016(平成28)年

自己点検・評価 / 認証評価の大学通信教育独自の取り組み
情報の公開・公表の各大学共通のガイドラインとして

現在は「大学通信教育教職課程ガイドライン」を、国立大学教員や都道府県と市町村の教育委員会連合会の協力(外部評価)を受けて制定を準備中。

2016年4月1日

2 大学通信教育における質保証

メディア授業で問題となった事例(勧告)

(文部科学省、平成19年1月25日)勧告事項(根拠:学校教育法第15条第1項)(2)
「ビデオ授業の指導方法について」より

ビデオ授業は、多様なメディアを高度に利用して、授業を行う教室以外の場所で行うことができる授業(高度メディア利用授業)として位置付けられているところ。このビデオ授業については複数の指導方法が用意されているが、利用日時が限定されていたり、回答までに1週間程度を要するなど、いずれも毎回の授業の実施に当たって質疑応答等の指導を十分に行っておらず、高度メディア利用授業に関する大学設置基準第25条第2項及び文部科学省告示に違反。

2 大学通信教育における質保証

特区832の大学通信教育設置基準包括

大学通信教育設置基準

(校舎等の施設)

第十条 通信教育学部を置く大学は、当該学部に係る大学設置基準第三十六条第一項に規定する校舎を有するほか、特に添削等による指導並びに印刷教材等の保管及び発送のための施設(第三項において「通信教育関係施設」という。)について、教育に支障のないようにするものとする。

2 前項の校舎等の施設の面積は、別表第二のとおりとする。ただし、通信教育学部のみを置く大学であって、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク(以下この項において「インターネット等」という。)を利用して教室以外の場所のみにおいて授業を履修させるものについては、**インターネット等を利用して行う授業の特性を踏まえた授業の設計その他の措置を当該大学が講じており、かつ、教育研究に支障がないと認められる場合は、この限りでない。**

2 大学通信教育における質保証

特区832関連の大学通信教育設置基準改正の伴う通知 (対面性・学生支援の強調)

(2) 教育効果を高めるための措置について

インターネット等を利用して教室以外の場所のみにおいて授業を履修させる大学（以下「インターネット等大学」という。）については、授業の実施方法がインターネット等のみを利用したものに限定されているという特性を考慮し、例えば教員がインストラクショナルデザイナーと共同で授業の組立てを行うなど、インターネット等を利用した授業の教育効果が確実なものとなるよう必要な措置を講じることが必要であること。

また、対面性を補完するための方策として、個々の学生の総合的な能力や学習成果を確認すべきと考えられる場面においては、教員と学生本人の一对一のやりとりが可能となる同時双方向の手段を適切に導入すること。

なお、教育研究に支障がないとは、当該大学における各学部・学科の教育研究上の目的を達成することが可能であることを意味するものであること。

(3) 学生への支援について

インターネット等大学の特性を踏まえ、例えば必要な体制を整備してコンピューターの操作等に関する問い合わせに対応するなど、学生に対する技術面での支援をこれまでと同様に行うことが求められること。また、学生が大学生活を円滑に行えるよう、例えば教育課程外で面接や面談、集団活動の機会を設けるなど、社会人経験のない者を中心に、学生の心理面に対する十分な配慮を行うことが必要であること。

2 大学通信教育における質保証

メディア授業に求められる条件

同時でも、非同時でも、双方向性が必須。

* メディアを送るだけで、添削・試験をする場合は、法令上はメディアを印刷物や放送の代わりに用いる通信授業や放送授業に該当する。

三 設問解答等 メディア授業告示の第二号に規定する「設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導を併せ行うもの」とは、メディア授業に用いる要素を毎回の授業として区分し、その区分の実施と併せて内容に関連した学習の成果を確かめるために、設問を提示して学生が解答して教員が正解を提示すること、学生がレポートを提出して教員が添削指導すること、教員の任意の質問に学生が応答し学生が質問をして教員が返答すること等の双方向の行為を行うことである。「十分な指導」とは、当該双方向の行為による指導により授業の進行に従って学習の理解を確認する機会が十分に設けられ、授業の進行及び学習の理解を教員と学生の双方が確認できるものである。

(メディア授業の実施体制)

第十六条 大学はメディア授業を効果的に実施するために大学が必要と認める実施体制を確立し、受講する学生数に応じて必要な場合にシステム管理のスタッフ等及びティーチング・アシスタント等を配置し、受講する学生が効果的に学習できるための授業運営の工夫として必要な場合に多人数受講者のクラス別編成又は人数制限その他を行うものとする。

(メディア授業の教育効果を上げるための方策)

第十七条 メディア授業のみで卒業所要単位を満たす大学においては、教育課程の編成方針及び学位授与の基準に基づいて、卒業又は必要な段階ごとに第十五条（メディア授業の科目試験）第一項とは異なる対面又はインターネットを利用した対面に相当する方法によりメディア授業の教育効果を上げるための方策をとるものとする。

条文は本協会のメディア授業ガイドライン第10条第3号、第16条、第17条

2 大学通信教育における質保証

メディア授業に求められる条件 厳密な本人認証と学力の判定。

* 通常のID/PW方式だけでは、本人確認としては不十分。アクセス者が本人であることの認証と、本人の学力の確認が必要。

(メディア授業の本人認証)

第十四条 メディア授業の音声及び動画による授業では、氏名や番号等による公開性の個人情報とパスワードなどの非公開の個人情報とともに、必要な場面において本人でなければ知り得ない秘匿性の高い情報、試験場における科目試験、面接等による本人認証を行うものとする。

(メディア授業の科目試験)

第十五条 メディア授業の授業科目の単位授与のための科目試験をインターネットを利用して行う場合は、第十四条(メディア授業の本人認証)に定める本人認証とともに、第十条(非同時双方向型のメディア授業)第三号に定める設問回答等と異なる単位授与にふさわしい学力を確かめるためのものとする。

2 前項に定める科目試験によらず、試験会場に出席する科目試験又は第六条(授業方法の組み合わせと単位数の明示)の規定による授業科目において面接授業、通信授業又は放送授業として科目試験を行うことができる。


条文は本協会のメディア授業ガイドライン第14条、第15条

2 大学通信教育における質保証

【本人認証の取組事例】

- * 顔認証やリアルタイムの口頭試問の実施
- * 第3の臨時パスワード送信など本人認証

終了テスト認証

 パスワード発行通知メールを送信しました。

●無線接続のPCやタブレット、スマートフォンではなく、有線環境のPCでの受験を強く推奨します。
●受験開始前にパスワード発行を行ってください。パスワードは選択したパスワード送付先にメールにて送信されます。
●送付されたパスワードを本画面にを入力し、認証ボタンを押すと試験開始となります。
●試験は受験期間内に1回のみ受験可能です。
●試験時間は70分です。70分以内に解答を入力し、登録実行ボタンを押してください。
●試験時間内に接続が切れた場合は同じパスワードで改めて認証の上、受験可能です。ただし試験時間はリセットされません。また、接続が切れた時間が試験期間外の場合は受験を再開できません。
●1度登録した解答は修正・変更できません。
●試験時間を超過すると解答は登録できなくなり、次回以降の受験期間まで再受験はできません。

開講年度	2018
科目名	レポート入門
課題番号	1
課題名	メディア授業科目 終了テスト
パスワード送付先	<input type="radio"/> your-pc-address@example.com <input type="radio"/> your-mobile-address@example.com
パスワード	<input type="password"/>

Copyright(C) 2014 Software Research Associates, Inc. All Rights Reserved.

試験のたびにメール送付による第二パスワードと60分の時間制限をする例
(武蔵野美術大学)

2 大学通信教育における質保証

仮に「通学課程も124単位すべてがメディア授業でよい」となったときの問題。

通信教育課程124単位メディア授業の前提となった、**双方向性**や**学力判定**などは可能か。

有職社会人ではなく、18歳現役を中心にしたフルタイム学生には、キャンパスでの多様な**人間形成**の機会を保障するべきではないのか。

2 大学通信教育における質保証

提起 教育水準を確保したメディア授業の加速

非常事態宣言後の通学課程のメディア授業の普及と、**著作権法第35条改正**の施行(補償金制度・本年4月28日)により、メディア授業は今後も広がっていく。

しかし、ポストコロナ期を見据えると、**設置基準とメディア授業告示**どおりの水準確保がない状態が通学課程でみられ、このままでは学生の不満は拡大するのではないか。

今後の通学課程・通信教育課程とも、**ハイブリッド**型の展開において、教員・学生相互の**双方向性**の確保が喫緊の課題である。

2 大学通信教育における質保証

提起 学修成果が活かされるリカレント教育

大学通信教育の**教育水準確保**は、卒業資格の**社会的通用力**のためにも、不可欠である。

リカレント教育の成果を人材育成として直接に還元される企業社会において、大学通信教育の活用が戦略化される必要がある。

「大学に行けなかった時代の通信教育」から、「**大学で学び直す時代の通信教育**」への常識の変化が必要となる。

2 大学通信教育における質保証

提起 社会人にダイレクトに届く経済的支援

私立大学と放送大学の努力で授業料の**低廉性**は確保されているが、公的支援も低下する傾向にある。目に見える「第4種郵便」もICT化のなかで、効果は万能ではない。

社会人に魅力的な**教育訓練給付金制度**の4年制大学への適用など、有職社会人が「**働きながら学べる**」という実感を保障する経済的支援の充実が必要である。

おわりに

私立大学通信教育協会は、ポストコロナ期の高等教育、すなわち短期大学通信教育課程、学部通信教育課程そして大学院通信教育課程が、すべての社会人に、質保証の整った高等教育の場が提供されるように、努力を続けます。

ご静聴ありがとうございました。

 公益財団法人私立大学通信教育協会